

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日  
上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社  
 コード番号 4619 URL <http://www.nttoryo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 万喜夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務業務本部長 (氏名) 田谷 純 (TEL) 03-3913-6134  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	34,454	8.2	2,170	14.5	4,793	23.6	3,445	13.0
28年3月期第3四半期	31,835	11.0	1,895	109.7	3,878	52.9	3,050	40.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,605百万円(△5.4%) 28年3月期第3四半期 2,753百万円(△6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	155.82	—
28年3月期第3四半期	137.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	64,184	36,443	53.2
28年3月期	56,894	34,235	57.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 34,118百万円 28年3月期 32,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	14.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—		
29年3月期(予想)				18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,700	8.9	2,800	△5.5	5,800	4.8	4,000	0.9	180.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	23,611,200株	28年3月期	23,611,200株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,500,747株	28年3月期	1,500,521株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	22,110,584株	28年3月期3Q	22,110,826株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格の安定、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しにより回復基調の兆しがみられました。しかしながら海外では、米国経済は堅調さを維持しているものの新政権誕生による今後の影響、英国のEU離脱問題、中国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、自動車関連事業において海外での需要が堅調に推移したことに加えて連結子会社の増加により344億5千4百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

損益面につきましては、売上増収に加えて生産性の向上、原材料価格の改善などの原価改善等により営業利益は21億7千万円（前年同期比14.5%増）、経常利益は米国関連会社における固定資産売却益9億6千万円を含む持分法による投資利益25億1千3百万円を計上したことにより47億9千3百万円（前年同期比23.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億4千5百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

#### ① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、国内需要の低迷、天候不順等の影響を受け、全体として売上高が前年同期を下回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、主力の防水用塗料は拡販等により前年同期比1.9%増加、床用塗料は第3四半期での需要増加により前年同期並みとなりました。一方、屋根用塗料は機能性塗料の多様化による競争激化の影響もあり、前年同期比9.2%減少しました。

工事関連売上の集合住宅大規模改修工事につきましては、受注工事物件減少や工事開始ずれ等により、前年同期比18.2%減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は110億9千万円（前年同期比6.4%減）、セグメント利益は5億3百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

#### ② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、国内の乗用車生産台数が前年同期比で増加したこと、また海外での受注増加に加えて子会社の増加により、売上高及びセグメント利益は前年同期を大きく上回りました。

品種別売上高につきましては、制振材は受注増加と子会社の増加により前年同期比3.5%増加しました。吸・遮音材も同様に、受注増加に伴う生産能力増強と子会社の増加により前年同期比28.3%と大きく増加しました。一方、防錆塗料は国内での受注減少により前年同期比1.0%減となりました。原材料輸出等のその他売上は、前年同期比15.3%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は233億5千3百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益は16億6千1百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

#### ③ その他

保険代理業の売上高は10百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ72億9千万円増加し、641億8千4百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加12億2千5百万円、受取手形及び売掛金の増加9億2千4百万円、有形固定資産の増加43億2千9百万円、無形固定資産の増加4億6千3百万円、投資有価証券の増加4億4千万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ50億8千1百万円増加し、277億4千万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加11億2千7百万円、借入金の増加28億8千1百万円、未払法人税等の減少4億2千5百万円、繰延税金負債の増加7億2千4百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億8百万円増加し、364億4千3百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加25億7千3百万円、その他有価証券評価差額金の増加6億1百万円、為替換算調整勘定の減少16億3千7百万円、非支配株主持分の増加6億円によるものです。自己資本比率は3.9%減少し53.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,184	7,410
受取手形及び売掛金	13,168	14,093
商品及び製品	1,337	1,437
仕掛品	418	395
原材料及び貯蔵品	931	1,054
繰延税金資産	425	431
その他	1,050	493
貸倒引当金	△89	△7
流動資産合計	23,427	25,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,877	4,742
機械装置及び運搬具(純額)	3,197	5,321
土地	3,561	4,292
建設仮勘定	1,715	1,843
その他(純額)	1,443	1,924
有形固定資産合計	13,795	18,124
無形固定資産		
その他	470	934
無形固定資産合計	470	934
投資その他の資産		
投資有価証券	17,275	17,716
長期貸付金	261	262
繰延税金資産	38	66
その他	1,646	1,797
貸倒引当金	△21	△26
投資その他の資産合計	19,201	19,817
固定資産合計	33,467	38,876
資産合計	56,894	64,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,057	10,185
短期借入金	1,960	2,951
リース債務	62	70
未払法人税等	654	228
役員賞与引当金	61	-
その他	3,646	4,389
流動負債合計	15,444	17,825
固定負債		
長期借入金	2,249	4,140
リース債務	152	274
退職給付に係る負債	4,408	4,373
繰延税金負債	363	1,087
その他	42	40
固定負債合計	7,215	9,915
負債合計	22,659	27,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,362	4,362
利益剰余金	18,947	21,520
自己株式	△496	△497
株主資本合計	27,567	30,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,220	4,822
為替換算調整勘定	1,061	△575
退職給付に係る調整累計額	△339	△269
その他の包括利益累計額合計	4,942	3,978
非支配株主持分	1,725	2,325
純資産合計	34,235	36,443
負債純資産合計	56,894	64,184

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	31,835	34,454
売上原価	24,642	26,374
売上総利益	7,193	8,080
販売費及び一般管理費	5,297	5,909
営業利益	1,895	2,170
営業外収益		
受取利息	30	30
受取配当金	134	169
持分法による投資利益	1,900	2,513
その他	52	70
営業外収益合計	2,118	2,783
営業外費用		
支払利息	48	65
為替差損	63	75
その他	24	18
営業外費用合計	135	160
経常利益	3,878	4,793
特別利益		
固定資産売却益	15	-
受取保険金	7	0
投資有価証券売却益	31	88
特別利益合計	53	88
特別損失		
固定資産処分損	44	111
減損損失	89	-
貸倒引当金繰入額	82	-
投資有価証券評価損	-	0
特別損失合計	216	111
税金等調整前四半期純利益	3,715	4,771
法人税等	452	943
四半期純利益	3,263	3,827
非支配株主に帰属する四半期純利益	212	382
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,050	3,445

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	3,263	3,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△345	591
為替換算調整勘定	△15	△522
退職給付に係る調整額	4	70
持分法適用会社に対する持分相当額	△152	△1,361
その他の包括利益合計	△509	△1,222
四半期包括利益	2,753	2,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,548	2,480
非支配株主に係る四半期包括利益	205	124

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,847	19,977	31,824	10	31,835	—	31,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	2	—	2	△2	—
計	11,849	19,977	31,827	10	31,838	△2	31,835
セグメント利益	512	1,378	1,891	4	1,895	—	1,895

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

塗料関連事業及び自動車製品関連事業セグメントにおいて、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていない資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては塗料関連事業で44百万円、自動車製品関連事業で44百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,090	23,353	34,444	10	34,454	—	34,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	2	—	2	△2	—
計	11,093	23,353	34,446	10	34,457	△2	34,454
セグメント利益	503	1,661	2,165	5	2,170	—	2,170

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。